

1/31 月曜

中等症でも急に重症化

受け入れは基礎疾患がある軽症患者と中等症患者です。重症化した場合、重症患者対応の病院に転院した方がよいのですが、転院が間に合わず、人工呼吸器を着装する必要があります。重症患者用の病床が足りなくなっています。年明けから人工呼吸器の装着が増えていました。

受けるは基礎疾患す。軽症あるいは中等症で入院しても6、7日で酸素投与が必要になる人もいます。そこから2、3日中に投与量がどんどん増えています。重症患者用の病床が足りなくなっています。年明けから人工呼吸器の装着が増えていました。

コロナ看護の最前线

下

—関東地方の病院

コロナ病棟(12床)の看護長

ずっと満床 いつまで

患者の看護には防護服が必要です(資料写真)



が呼吸器を扱った経験があるわけではありません。1人の患者が呼吸器を装着している状態で別の患者が悪化したらと思うと不安です。

ベテラン、新人にかかわらず、自分が感染する不安をかかえる看護師が多くいます。2人組で防護服のずれ

これまで心掛けてきた

看護と「正反対」のことを強いられます。患者第

一だったのが、自分の感染予防を第一に考えなければなりません。

患者のそばで話を聞いたり触れるなどを避けなければなりません。ナースコールが鳴っても

スクリーンをいやがってすぐ外すので、そのたびに

防護服を着て酸素マスクを着けに行きます。

歩いて入院し、会話をした患者がみるみる悪化してしまったのをみてつらくなった看護師もいます。

患者に聞き取りをするといふと、正月に集まつたり、出かけたり、会食したりして感染したことがわかります。自分たちは友達にも会えず

実家にも帰れない一方で友人は「GO TO キャンペーン」で旅

行したりして、いるよな世間とのそれがストレスになってしまふのです。ずっと満床で、いつまでこれが続くかと思います。